

2016年9月29日

報道関係各位

アンリツ株式会社

Azimuth Systems 社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ

IoT/5G 社会の実現に向けて

アンリツ株式会社（本社：神奈川県厚木市、社長 橋本裕一、以下アンリツ）は、セルラー、Wi-Fi、IoT^[*1]などへのワイヤレス・パフォーマンス・テストソリューションベンダーである Azimuth Systems, Inc.（米国 マサチューセッツ州アクトン、以下アジマスシステム社）を傘下に加えること（完全子会社化）を決定し、買収契約を9月28日に締結いたしました。今後成長が期待される IoT 市場や 5G^[*2]のビジネスにおいて、両社の強みを生かしたテストソリューションを提供してまいります。

[アジマスシステム社について]

アジマスシステム社は2002年に設立された、チャンネル・エミュレータ^[*3]に強みを持つ、アメリカ、ボストン近郊に拠点をかまえる会社です。モバイル通信の基地局ベンダーを始めとして、通信キャリア、チップセットベンダー、端末ベンダーへ、無線伝搬環境試験をエミュレートするためのチャンネル・エミュレータを開発・販売しています。

[背景]

モバイルブロードバンド技術は社会生活のさまざまな場面で通信インフラとして活用されています。そのような中で進められている次世代 5G の研究開発において、無線伝搬品質（データ品質）への測定要求はますます高度化・複雑化しています。また、IoT 市場においても、デバイス数が飛躍的に増加するため、フィールドで顕在化する通信問題を再現できる環境の必要性が更に増していきます。

どのような環境下でも一定のデータ品質を保証するための試験に、また、さまざまなフィールド環境をラボにおいて再現するソリューションとして、これからもチャンネル・エミュレータは、モバイル通信研究開発での評価・検証はもとより、適合試験においても、共通で必須のソリューションです。

[戦略的位置づけ]

当社は、3G/4G 向けの計測ソリューションでは自社開発したフェージング・シミュレータ^{【※4】}を組み込み、モバイル端末向けビジネスを展開してまいりました。5G においては、アジマスシステム社のチャネル・エミュレータ技術と自社技術を統合させ、ビジネス展開を図ってまいります。

さらには、5G 規格策定にも関わっているアジマスシステム社と協働して、基地局からセルラー端末までの測定ニーズをつかみ、お客様へのソリューション提案を充実させてまいります。

また、当社のグローバルネットワークを活用することにより、アジマスシステム社の事業のグローバル展開とお客様からの信頼を一層充実させてまいります。

[業績見通しへの影響について]

アジマスシステム社の損益は 2016 年度下期より連結対象となります。現時点においては売上・利益の見通しに大きく影響を与えない見込みです。

[用語解説]

【※1】 IoT (アイ・オー・ティー): Internet of Things

コンピュータ等の情報・通信機器だけでなく、工場の生産設備や家電等世の中に存在するあらゆるモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することで、自動制御や遠隔計測等を行うこと。

【※2】 5G

第 5 世代移動通信システム。第 4 世代移動通信 (4 G) の後継仕様と位置づけられる次世代の移動通信の通信方式。3G、4G はそれぞれ第 3 世代、第 4 世代の略称。

【※3】チャネル・エミュレータ: Channel Emulator

無線通信機器やシステムを評価するために必要な無線伝搬環境(フェージング環境)を提供する機器。MIMO や空間ダイバシティなどの電波伝搬を模擬する。

【※4】 フェージング・シミュレータ: Fading Simulator

無線通信機器の移動や時間経過により、無線通信機器での電波の受信レベルが変動する現象をシミュレーションする機器。電波伝搬の悪化（マルチパス、ドップラー、伝送損失）を模擬する。

[本リリースのお問い合わせ先]

アンリツ株式会社

IR 部

TEL. 046 (296) 6507

IR 情報お問い合わせ

<https://www.anritsu.com/ja-JP/about-anritsu/investor-relations/ir-contact/inquiry-ir>

コーポレートコミュニケーション部

TEL. 046 (296) 6671

企業情報その他お問い合わせ

<https://www.anritsu.com/ja-JP/contact-us/inquiry-pr>